

## 武蔵野市の骨格をつくった長期(総合)計画

武蔵野市では昭和46年(1971年)を初年度とする第一期長期計画の策定以来、市民参加による計画行政を展開してきた。すでに40年近くが経過したことになる。この長期計画の一連の取り組みは何を残し、どのような成果を上げることができたのか。

現在の街の姿や市民施設の整備にどのような影響を与えてきたのかを中心に紹介する。

### 1 武蔵野市の長期計画の特徴

#### (1) 長期計画の主な特徴

- ・ 策定(市民)委員会方式(市民参加・職員参加・議員参加)
- ・ 基本構想・長期計画・実行計画を一体として策定
- ・ 市政選挙と計画のローリング時期をリンク
- ・ 市民・職員に読まれる計画書を志向

#### (2) 長期計画は定着しているか？

- ・ 「それはチョウケイ事項である」

### 2 長期計画の主な内容(第一期を参考に)

#### (1) 第一期長期計画の目標と課題

- ① 市民がつくる武蔵野市政(市民参加システム・コミュニティ等)
- ② 豊かな市民生活の実現(基盤計画・文教計画・福祉計画)
- ③ 都市改造のための六大事業(①②の課題を前提として)

#### (2) 長期計画(第一期)都市改造の六大事業計画

- ① 緑のネットワーク計画
- ② 市民施設のネットワーク計画
- ③ 全市完全下水道ネットワーク計画
- ④ 3つの地域プロジェクト(吉祥寺駅周辺開発・中央地区整備・武蔵境駅周辺地区開発)

### 3 緑のネットワーク計画

- (1) 大胆にこの計画で緑のネットワーク形成を第一の事業計画とする。
- (2) 緑のネットワーク計画関連の主な事業
  - ・ 緑化市民委員会
  - ・ 緑の花の課・緑化推進本部の設置
  - ・ 市民緑の憲章の制定
  - ・ 緑被率の調査(47年度～)
  - ・ 借地公園・環境緑地(民有地保全)
  - ・ 大木・シンボルツリー2000計画・保存樹木・保存樹林
  - ・ 接道部緑化(保存生垣制度・接道部緑化助成)
  - ・ ビオトープ(全小学校他)
  - ・ 街路樹・グリーンベルトの整備
  - ・ 公園面積・公園数の拡大(都市公園・緑地・市立公園・広場 196)
  - ・ 緑化指導(宅地開発指導要綱からまちづくり条例へ) 等

### 4 市民施設のネットワーク計画

- (1) 市民施設の当時の状況
- (2) 地域の課題から発想して検討を原則とした
- (3) 市民施設の三層構造のフレーム
- (4) コミュニティ構想の二つの意義
- (5) その他の独自市民施設
  - ①0123吉祥寺・はらっぱ ②地域子ども館あそべえ ③テンミリオンハウス
- (6) やらないという政策選択
- (7) 施設以外の独自施策
  - ①コミュニティバスマーバス ②セカンドスクール ③レモンキャブ

### 5 まとめ

- (1) 振り返ってみた長期計画の特徴と成果
  - ① 戦略性の高い計画
  - ② 「基本政策」継承がガイドラインとして機能
  - ③ 独自の発想で市政運営することを促進